

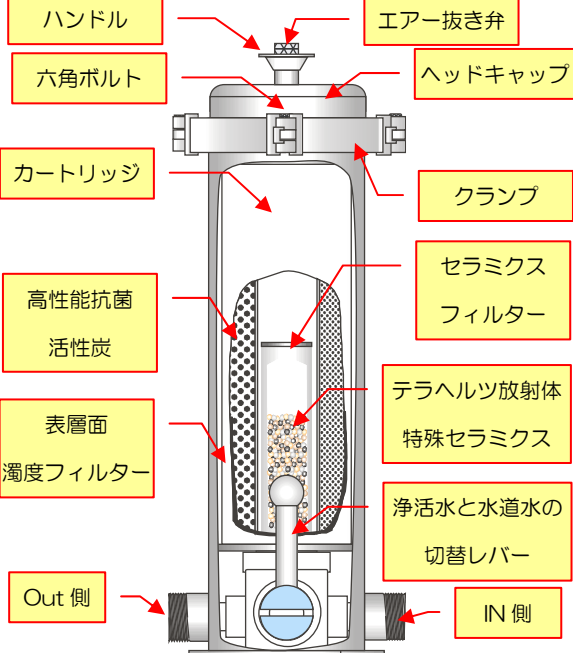
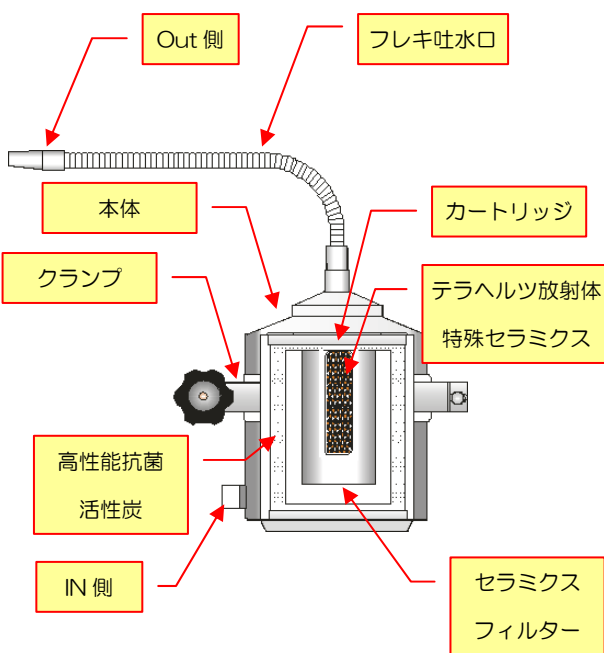


取扱説明書

構造と仕様

<p>機種</p>	<p>テラヘルツ浄水器 400K (セントラル式)</p> 	<p>テラヘルツ浄水器 100S (卓上型)</p> 		
<p>構造</p>	 <p>ハンドル 六角ボルト カートリッジ 高性能抗菌活性炭 表層面濁度フィルター Out側 エアー抜き弁 ヘッドキャップ クラップ セラミクスフィルター テラヘルツ放射体特殊セラミクス 浄活水と水道水の切替レバー IN側</p>	 <p>Out側 フレキシ吐水口 本体 カートリッジ クラップ テラヘルツ放射体特殊セラミクス 高性能抗菌活性炭 IN側 セラミクスフィルター</p>		
<p>仕様項目</p>	<p>容器</p>	<p>カートリッジ</p>	<p>容器</p>	<p>カートリッジ</p>
<p>適用原水</p>	<p>水道水</p>			
<p>主な材料と構成部材</p>	<p>外容器：SUS304 内蔵4方弁：PP樹脂製 内蔵逆止弁：ABS樹脂製</p>	<p>ABS樹脂、PET樹脂製 テラヘルツ放射体 高機能抗菌活性炭 特殊セラミクス</p>	<p>外容器：SUS304 吐水口：銅合金 切替コック：ABS樹脂製 接続ホース：エラストマー</p>	<p>ABS樹脂、PET樹脂製 テラヘルツ放射体 高機能抗菌活性炭 特殊セラミクス</p>
<p>残留塩素除去率と能力</p>	<p>2PPmで80%以上（JIS S3201の試験方法による） 15ℓ/分時に1PPmの残留塩素を90%除去換算で400㎡</p>		<p>2PPmで80%以上（JIS S3201の試験方法による） 8ℓ/分時に1PPmの残留塩素を90%除去換算で100㎡</p>	
<p>標準処理流量</p>	<p>15ℓ/分（最大35ℓ/分）</p>		<p>8ℓ/分（最大12ℓ/分）</p>	
<p>付属機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> 切替レバーで水道水と浄活水の切替及び残留塩素の調整も可能 In側の逆止弁による逆流防止機能 		<ul style="list-style-type: none"> 切替コックの切替レバーで水道水と浄活水の切替 蛇腹式吐水口 	
<p>標準付属部品</p>	<p>六角レンチ、保証書</p>		<p>接続ホース、蛇口接続用アダプター、保証書</p>	
<p>寸法等</p>	<p>配管接続口径 20A 接合面間距離 176（メーターユニオン接続） 寸法：176φ×442H</p>		<p>15A用蛇口接続 蛇口先端径 16~19φと泡沫外ネジ 22φ×P1.25とP1.0 泡沫内ネジ 23φ×P1.25と24φ×P1.0 寸法：205φ×264H（フレキシ吐水口含む）</p>	
<p>使用圧力と圧力損失</p>	<p>0.7Mpa（瞬間最大耐圧 1.75 Mpa） 15ℓ/分時に0.05 Mpa以下</p>		<p>0.3Mpa（瞬間最大耐圧 0.7 Mpa） 8ℓ/分時に0.05 Mpa以下</p>	

取付方法

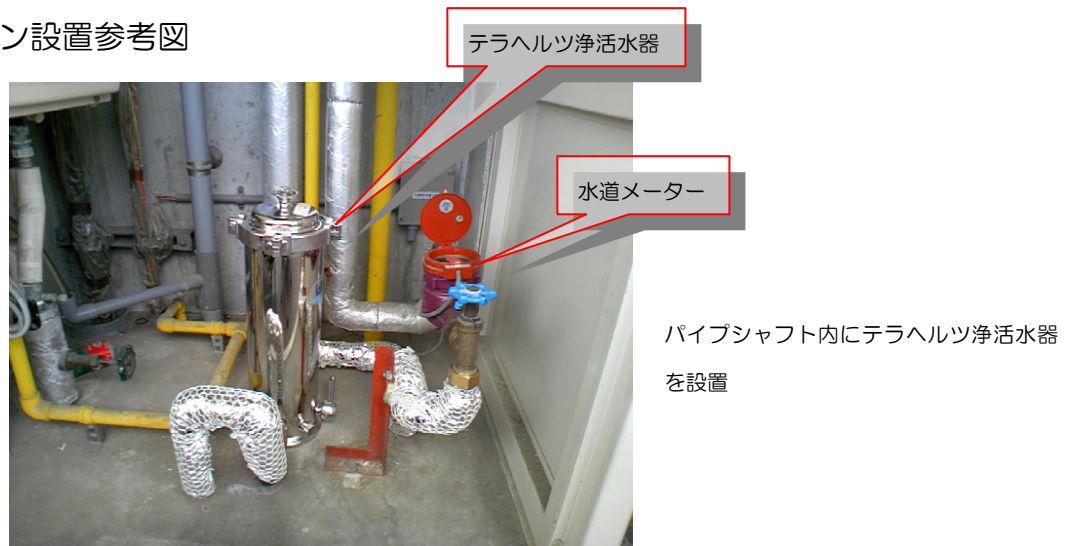
※上記記載の構造と仕様及び別紙承認図をご参考にして下さい。

1. テラヘルツ浄水器 400K の場合

- 戸建住宅設置参考図



- マンション設置参考図



- (1) 水道メーターの止水弁を閉じて、室内の水栓を開いて水が止まっていることを確認してから、水道メーターの2次側(下流側)の配管を切離し、必ず水道メーター継ぎ手(メーターユニオン継ぎ手)を用いて、本体接続方向インとアウトを間違えずに配管接続をしてください。屋外に設置する場合は、本体が接合部継ぎ手を緩めて脱着できる大きさ等の市販品の埋設ボックス又は地上置ボックス内に設置してください。
- (2) 本体内蔵弁の切替レバーを浄活水側(水平方向)にしてから水道メーターの止水弁を開いて接続部や本体から漏水がないか点検し、水漏れがあれば締め直し等を行い、漏水がないことを確認してください。
- (3) エアー抜き弁(上部の小さい弁)を緩めてエアー抜きを行い、エアーが抜けたら水漏れがないようにエアー抜き弁をしっかり閉めて、台所又は浴槽の水栓を全開にして、1分間以上流水し、水のにごりがないことや水跳ね影響がおさまったことを確認してください。
- (4) 残留塩素が必要な場合は、切替レバーを水平位置から垂直方向に15~45度程度回して残留塩素量を調整してください。(通常は切替レバーを水平位置にして浄活水100%でご使用ください。)
- (5) 冬季低温期や寒冷地等で、本体や配管等が凍結する恐れがある場合は、保温工事や寒冷地対策を行ってください。

2. テラヘルツ浄水器 100Sの場合

(1) 取付可能水栓タイプと仕様アダプターの一覧表

水栓形状タイプ	主な水栓形状	使用アダプター
 丸型蛇口（縁付）		 16φ用 19φ用
 丸型蛇口（縁なし）		
 泡沫水栓（外ネジ）		 22φ×P1.25用 22φ×P1.0用
 泡沫水栓（内ネジ）		 23φ×P1.25用 24φ×P1.0用

(2) 取付可能な蛇口は、丸型蛇口のツバ付と無で、16φ～19φの物です。また、泡沫水栓の外ネジは、22φ×P1.25とP1.0の物で、内ネジは、23φ×P1.25と24φ×P1.0に取り付けれます。

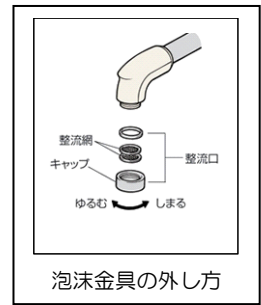
(3) 丸型の場合は蛇口を閉じて、付属の切替コックから取付キャップを反時計方向に回して外します。外したキャップを先に蛇口先端から入れてから適用アダプターを通して、切替コックと取付キャップを時計方向に締めます。また、付属のホースを本体と接続します。



(4) 切替コックを浄活水側にしてから蛇口を開いて接続部や本体から漏水がないか点検し、水漏れがあれば締め直し等行い、漏水がないことを確認してください。

(5) 蛇口を開けて 1 分間以上流水し、水のにごりがないことや水跳ね影響がおさまったことを確認してください。

(6) 泡沫水栓の場合は蛇口を閉じて、付属の切替コックから取付キャップを反時計方向に回して外します。蛇口の泡沫金具を外て、適用アダプターを取り付けから切替コックを時計方向に締めます。また、付属のホースを本体と接続します。(その後の手順は、(2)と(3)と同じです。)



(7) 取付が出来ない蛇口一覧表



水栓形状タイプ	主な水栓形状
 シャワーヘッド水栓	
 自動タッチ水栓	
 特殊形状水栓	
 角型水栓	
 取付距離 15mm 以下 口径 20φ 以上	

(8) 取付が出来ない蛇口は、シャワー水栓、センサー式自動水栓、角型蛇口、取付距離が短い丸型蛇口（15mm 以下）や直径が 20φ 以上の物等です。



テラヘルツカートリッジの交換方法

1. テラヘルツ浄水器 400K の場合



(1) 内蔵弁の切替（水道水への切替）

<p>本体の内蔵弁レバーを垂直に立てます。</p>	
<p>本体に水が通らない状態を確認してからヘッドキャップの上部の空気抜き弁をゆるめて、本体の水圧を開放して下さい。</p>	


(2) ヘッドキャップの外し方

<p>本体購入時に付属していた六角レンチを用い、クランプの六角穴ボルトを反時計方向に回して取り外します。</p>	
<p>クランプを開いて本体から外して、ヘッドキャップのカバーハンドルをもって前後にゆすりながら、ヘッドキャップを取外して下さい。</p>	

(3) テラヘルツカートリッジの交換

<p>カートリッジ上部の下げ金具（針金）をもって左右前後にゆすりながら引抜きます。</p>	
<p>交換用カートリッジをケーシング内に取り付けます。</p>	

(4) ヘッドキャップの戻し方

<p>ヘッドキャップとケーシングを接合するサポートリング（非交換品）の汚れやごみ等を取り除き、抑えゴム（非交換品）をカートリッジの上部に乗せます。</p>	
---	---

ヘッドキャップを元に戻します。 また、クランプは本体に取り付けてから六角穴ボルト戻し、時計方向に回して固定します。(注、サポートリング・抑えゴムが損傷した場合は、交換が必要です。コールセンターへご連絡下さい。 別途有償販売品となります。)



(5) 内蔵弁の切替 (浄活水への切替)

ヘッドキャップの上部の空気抜き弁を締めて、本体の内蔵弁レバーを水平に倒して本体に水が通る状態にして、約5分程度捨て水を行い、きれいな水が出ることをと漏れ等ないことを確認し、ご使用して下さい。



2. テラヘルツ浄水器 100Sの場合

(1) 蛇口の閉栓

切替コックを浄活に切り替えた後に、蛇口のハンドル等を締めて、フレキ吐水口から水が出ないことを確認して下さい。



(2) 上部ケーシングの外し方

クランプの丸ハンドルを反時計方向に回します。



クランプを広げて本体から外して、上部ケーシングをもって前後にゆすりながら、上部ケーシングを取外して下さい。



(3) テラヘルツカートリッジの交換

上部ケーシングから古いカートリッジを左右前後にゆすりながら引抜きます。



交換カートリッジを上部ケーシング取付ます。



(4) 上部ケーシングの戻し方

上部ケーシングと下部ケーシングを接合するサポートリング (非交換品) 及び台形リングゴム (非交換品) の汚れやごみ等を取り除き、上部ケーシングとカートリッジを下部ケーシングへ戻します。



クランプは本体に戻し、丸ハンドルを時計方向に回して締め付けます。(注、サポートリング・台形リングゴムが損傷した場合は、交換が必要です。コールセンターへご連絡下さい。別途有償販売品となります。)



(5) 蛇口の開栓と浄活水への切替

切替コックを浄活みに切り替えた後に、蛇口のハンドル等を開けて、フレキ吐水口から水が出ることを確認して下さい。その時に、約1分程度捨て水を行い、きれいな水が出ることを漏れ等がないことも合わせて、確認してからご使用して下さい。



安全上の注意事項

浄活水器の機能をフルに引き出し、良質の浄水を安全にお使いいただくために、次の事項に十分ご注意して下さい。

ご 注 意

■ 水道水専用

水道水処理用に設計されていますので、水道水以外の井戸水や河川水等の処理に使用しないで下さい。浄活水器の機能や性能が阻害されても弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 設置直後のご注意と報告書の提出

設置直後に通水した場合、蛇口から少しの濁りや気泡が出る場合がありますが、これはカートリッジ内部のセラミックスの付着粉が流出したもので、口に入っても人体に害はありませんが、1分間以上蛇口から水を放流してからご使用ください。また、設置後は次回のカートリッジ交換時期の案内のために、付属の「設置作業報告書」に必要事項を記載して、販売店又はメーカーに、設置作業報告書をFAX又は郵送をしてください。

■ カートリッジの耐用期間

濁度が少ない通常の水道水の場合、1日に1トン(4人家族の1住戸当たりの設計水量)の処理水を使用した場合は、テラヘルツ浄活水器400K(セントラル式)で、ほぼ1年でカートリッジの交換になります。濁度が多い場合は交換期間が1年より短くなる場合があります。

カートリッジが目詰まりしてきますと、水量と水圧が低下してきますので交換時期の目安にして下さい。また、テラヘルツ浄活水器100S(卓上型)の場合は、台所だけのご使用になりますので、1日に最大250ℓの処理水を使用した場合でもセントラル式と同じく、ほぼ1年でカートリッジの交換になります。

■ 朝一番のご使用のご注意

毎日朝一番にご使用される場合は、飲用の蛇口から30秒以上放流してからご使用ください。又、2~3日以上使用されなかった場合は、3分間以上捨て水をしてからご使用ください。

■ 汲み置き水

処理水を長時間汲み置きしてご使用しないで下さい。処理水は塩素を取り除いていますので、

滅菌作用が無くなっています。

■ 断水時や緊急時の対応

断水直後は、水道管から鉄錆や赤水等の汚れが混入して、カートリッジを目詰まりさせることがありますので、テラヘルツ浄水器 400K（セントラル式）の場合は、本体の切替レバーを水道水側（垂直位置）にして、水道管内の汚れた水を捨て水してからご使用ください。また、テラヘルツ浄水器 100S（卓上型）の場合は、切替コックを水道水にして同じく捨て水を行って下さい。漏水、異臭、水量不足等の緊急時は切替レバー又は、切替コックを水道水側に切り替えて、コールセンターにご連絡ください。

■ 混合水栓にテラヘルツ浄水器 100S（卓上型）取付ている場合のご注意

カートリッジは、温水に対応していませんので、お湯やお湯の混合状態でご使用した場合、故障する恐れがありますので、混合水栓のレバーを水の位置にしてご使用にして下さい。

